

JPEC World Report

欧州 2026 年 8 月版

ハイライト

➤ 政策動向

- 欧州委員会は、2027 年から開始予定の原油調達に関係するメタン規則のガイダンスを発表。罰則適用を 3 年間猶予するなど、産業界に配慮した内容が含まれる。
- オランダの SAF と再生可能水素に関する 2.9 億€と 7.8 億€規模の支援策が承認された。

➤ 企業動向

- Moeve は、マドリード空港での SAF 供給に関して、DHL とオフテイク契約を締結（6,000 トン・1 年間）。
- bp は、ポートフォリオ見直しによる事業売却を進めている。一方で、TotalEnergies による Shell の電力事業買収や、Enilive によるモビリティ事業買収など、石油各社の事業強化に向けた買収の動きも見られた。
- 水素会社間の競争では、Synhelion は、水素プラント建設に向けた資金調達の成功、FNV の大規模水素プラント建設に向けた 200 MW（100 MW×2 基）容量の建設開始の発表があった。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら>

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください>

JPEC World Report

米州 2026 年 8 月版

概 況

◆米 CBS ニュースが 7 月 31 日、米国はイランの発電所や製油所を標的にした過去最も激しい規模の一つとなる攻撃を検討中と報道したが、同計画はサウジアラビア等からの要請を受け、8 月 1 日、トランプ大統領は同作戦計画を中止する考えを SNS への投稿で明らかにした。

◆その間、WTI 先物は中東情勢を巡る報道に左右され 7 月 23 日終値は 92.18 ドルを記録した。7 月最終週は 80 ドル代半ばで推移した後、8 月初旬停戦実現の公算が再度高まり、70 ドル台半ばに下落した。

◆しかしながら、その後、WTI 先物は 8 月 12 日までに 5 日続伸、83.27 ドルに上昇した後、13 日 6 営業日ぶりに反落し、81.25 ドルで取引を終えた。中東の混迷によるエネルギー輸送の停滞が長引くと
の見方が原油価格を支える要因になる一方、石炭需要が低迷するとの期待で原油先物は売られる要因
となった。この間、IEA(国際エネルギー機関)は12日に発表した月次石炭市場報告(8月号)で2026



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

JPEC World Report

中国 2026 年 8 月版

ハイライト

◇6月の市況概況 ※7月の統計データは8月末に更新されるため、次号にて掲載予定

- 原油は、生産量 1,800 万トン(横ばい)、輸入量は 2,900 万トン(前月比 400 万トン減)。輸入量が 3 カ月連続で減少し、3,000 万トンを下回った。
- 石油精製品(ディーゼル燃料・ガソリン・ケロシン・燃料油)は、燃料油の輸出量が 100 万トン増加。
- 製油所稼働率は、国営石油会社が 73%(前月比で +2.8 ポイント増加)であるのに対して、地方製油所は 47%(前月比 4.3 ポイント下落)と 3 月以降下落が続いている。

◇7月の主な業界動向

- グリーン化(環境対応)の進展：①水素トラックの量産・実証、②3000 台規模の商用化、③燃料電池システムや水素供給網等を一体化したエコシステムの構築が進んでおり、商用車分野での脱炭素化を実現に向けて動きが加速している。また、廃タイヤの資源化、地熱とバイオガスを組み合わせた工場の稼働、全チェーングリーン化を実現する大型石化プロジェクト、グリーンケミカル対応等、製造・エネルギー分野での脱炭素化に向けた動きが加速している。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >